

都市整備部会 会議録

（出席者） 委 員：8名
事 務 局：6名（戦略部会員：5名、政策推進課：1名）
ア ド バ イ ザ ー：1名
ファシリテーター：1名

（会議の内容）

1. はじめに

資料1に基づき、第4回まちづくり市民会議（第3回部会）の会議録について内容を確認し、公表に当たっての承認を得ました。

資料2に基づき、第5回まちづくり市民会議の検討の進め方について事務局から説明しました。

2. グループワーク

第4回まちづくり市民会議（第3回部会）で抽出された「都市整備分野の課題」の解決策をテーマに、2グループに分かれてKJ法によるグループワークを行いました。

■メンバー

	グループ1	グループ2
委員	伊藤委員、山田委員、鈴木（一）委員、小久保委員、鈴木（孝）委員	夏目委員、杉本委員、根之木委員、駒木アドバイザー
事務局	河合、宮本、江口（JP総研）	三竹、彦坂、小谷、牧野

3. アドバイザー総括（駒木アドバイザー）

高度成長期の頃は人口も増え経済も成長していたため、行政に対して何かしてくれという要望をだしていた。また、個人と地域が離れていた。今は少子高齢化・人口減少の時代なので、個人と地域と行政がどのように役割分担していくのが重要である。先程、ゴミ拾いの話がでたが、個人でできることもあるし、地域で一体となることができることもある。また、専門的なことは企業や行政と一緒にすることもできる。それぞれの立場で問題解決をしていくことが、これからの地域政策になっていくと思う。

また、どれだけ地域に愛着をもてるか。PRも必要だと思う。最近若い人のボランティアが増えている。東日本大震災の被災地には愛知大学の学生がボランティアとして行っている。そういった若者のパワーをうまく取り込む仕組みを、行政・地域でも使っていくことで問題解決しているのではないかな。ゴミ、道路の問題は日本各地にある。他の地域に対して「田原市モデル」として提案もできると思う。

4. その他

次回開催日程は、6月25日（月）19：00からに決定しました。各委員に、ふり返しシートを配布し、会議後1週間を期限に、提出をお願いしました。

グループ1

市民

地域

行政

課題 10

住宅地や農地などがバランスよく利用されていない

ミニ開発の禁止

都市計画法の線引きの廃止

敷地の最低面積の指定

土地の整理。荒地等が住宅地、市街地に点在しているので、色々な物のバランス、デザイン、雰囲気が悪くなっている

課題 4

道路沿いのゴミ、雑草が汚く、視界をさえぎり危険

校区コミュニティの中で沿道、幹線道をきれいにする活動を市内全域で強化

地域による除草作業の実施(清掃活動)

ホイ捨て条例をつくる

土地の買収や舗装にお金をかけず草刈る

デザインと維持管理のバランスを市民視点で

課題 14

生活の安全・安心をおびやかす施設ができることが不安である

多くの市民が「安全・安心」のまちが良いと発言する

不安を除くため市長がリーダーシップをとる「日本一住みやすいまち」

課題 2

自転車道が活かされていない

レンタル自転車貸出し場所をもっと増やして利用料を整備にあててみる

自転車を使ったPR(種類、ブランド等)

PRの充実(ホームページ、マップの内容も充実させる)

課題 7

河川や海岸にゴミが多い。水と親しめる環境になっていない

ホームページなどでボランティアを集めてみては

ホテルを使ってイメージアップ

山や川、海で各種イベントを開催する

ゴミを捨てない人づくり、教育、啓発イベント(あわせてゴミ拾い、浚渫・伐採など)→水と親しむ魅力的な機会(きっかけ)に

肥料の量の規制

親水性を持たせた施設の整備

課題 15

災害に備えたまちづくり(ライフライン、住居の耐震化など)が必要である

国道のかさ上げ

課題 9

半島の特長や海の景色を活かしたまちづくり(景観の形成など)ができていない

旅行好きの市民の意見を聞く制度をつくる

避難タワー兼展望施設

市民

地域

行政

課題 13

建築物のデザインやまちなみ、看板などが美しくない

市民からまちのデザイン、テーマなどを集めて良いものをその街の基本テーマとする
まちが美しくないと思う市民をアドバイザーとして採用する

看板規制条例

課を横断した建物デザインの統一

景観条例の策定

課題 11

里山の整備が必要である

里山のPRをもっとして需要を高めて募金を集めてみては

「あいち森と緑づくり税」を使う(使いやすさの制度に変更する)

全てにおいて、補助金、アドバイザーが必要

里山には豊富な資源があると思われ、三方の海が見える等、災害に対して避難場所として有効である

大山の登山道を整備

課題 5

公共交通が不便。(バスが少ない、伊勢湾フェリーの存続問題、交通弱者の問題)

企業のところへ公共交通を走らせたら

「企業・営利・非営利・福祉」の全ての交通機関を市民が利用できる

豊鉄バスとぐるりんバスの乗車賃格差を減らす

路線バスの廃止→タクシー(乗合い等)

課題 3

国道に渋滞が激しい場所があるの対策が必要である

(ムダな)信号を廃止する

(国道259号南栄)県、豊橋市との協議

ラウンドアバウトの導入

信号制御を大幅に変更する

国道に見られる右折車線の撤廃→2車線を有効活用

国道でも県道でも狭くすることで低速走行をさせ、安全にする

課題 8

まちなかに賑わいが無い。空き家などが多くあり、空洞化している

三河田原駅周辺が「中心市街地」というのが背伸びしすぎ

町なかに住んでいるという自覚→見映えも考えず。家付近の清掃

行きたいと思わせる魅力的なお店づくり

拡大した市街地のコンパクト化

中心地の高度利用の推進

課題 1

生活道路が狭い、歩道がない、歩きにくい

農道の舗装が不用

狭あい道路(4M未満)解消事業の拡充

走る道路でなければ。歩道と車道に境をつけずに色等の変化で境を表わして車の速度を落とす

課題 12

公園の樹木や街路樹を美しく整備する必要がある

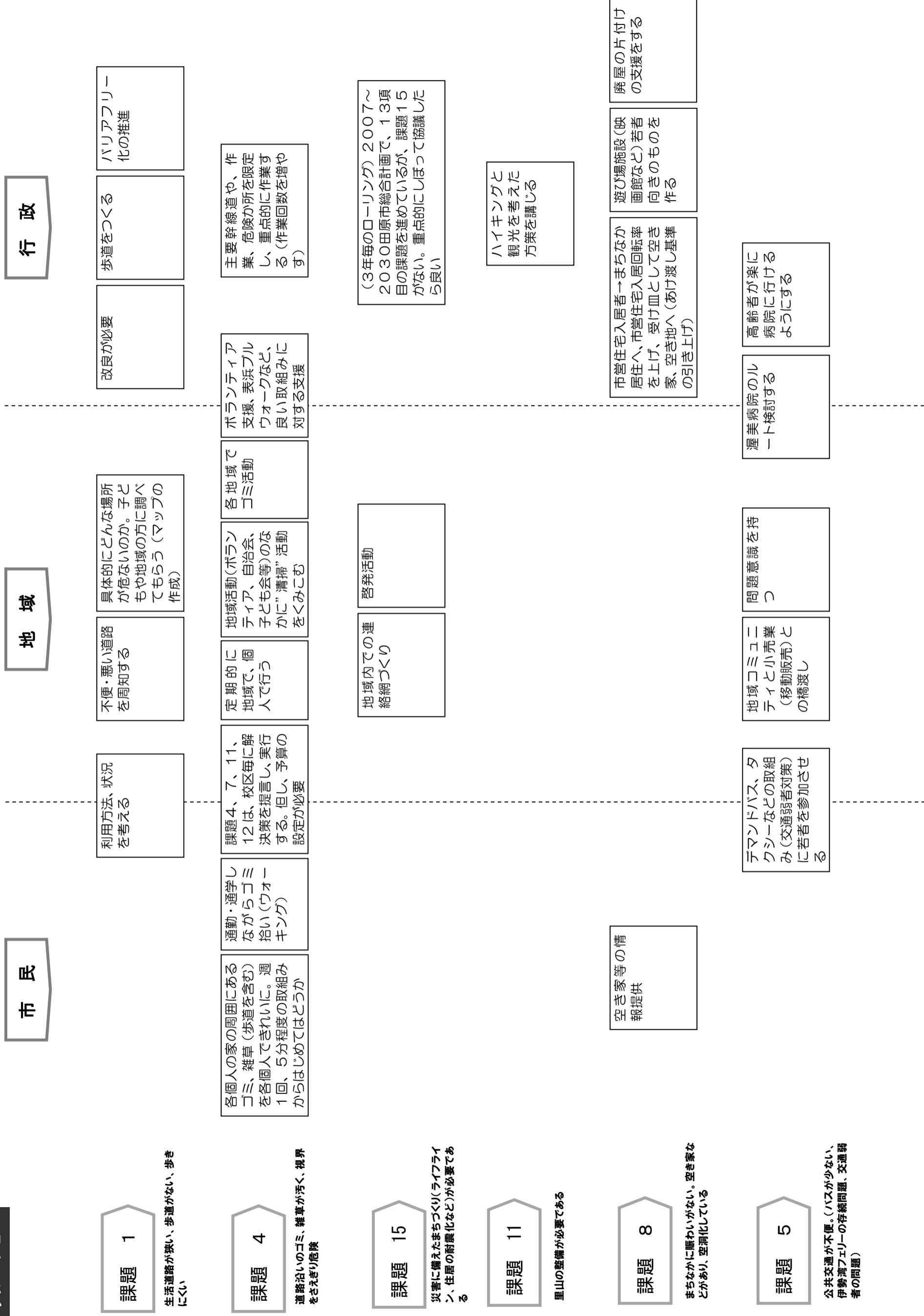
樹木の手入れマニュアルの策定

課題 6

三河湾の機能強化が必要ではないか

田原港の強化

グループ2



市民

地域

行政

課題 13

建築物のデザインやまちなみ、看板などが美しくない

課題 12

公園の樹木や街路樹を美しく整備する必要がある

課題 6

三河湾の機能強化が必要ではないか

道路標識以外の看板はいらない

アダプト(里親制度)を受けてくれる人を増やす。誰が里親かわかるように(看板等)。がんばっている人を広報、CATVで広く発表

管理しやすい街路整備へ。つつじなど低木を植えるとき草取りできない

みどりのまち推進協議会、少子化対策のハートフルを下げたい

行政各分野で客船の誘致(国、県又は企業)